

# ほたるっ子



磐梯第一小学校  
学校だより  
NO. 6  
R4. 4. 20  
(文責:校長 菅家 篤)

ドリーム&チャレンジ! ~あいさつ・はっぴょう・なかまとじぶん~

## 聞くから聴くへ > よりよい学びを成立させる基本条件

先週の職員会議で、「話のきき方」を4月後半の指導の重点とすることを確認しました。

目指す「話のきき方」は、下記のレベル②の「聴く」です。

保護者の皆様には、23日の授業参観でお子さんの話を聴く姿に注目してご覧いただければ幸いです。

レベル1 聞く (耳に入る程度)

レベル2 聴く (目を向け心を寄せて)

レベル3 訊く (友だちの発言を基に質問する)

レベル4 利く (気を利かせて訊く)

下の写真は、先週行われた交通教室の全体会の様子です。話を「聴く」ととても良い姿が見られました。



## ●●●心のコップを上向きに●●●

昨日の全校朝の会で、子どもたちにこんな話をしました。

【実際に、透明のコップに水を注いで見せながら】

心の中にコップがあります。コップが上を向いていたら、たくさん水が入ってきますが、伏せられていたら水は一滴も入りません。上向きのコップのような素直な心で先生や監督など、大人の話を受け止めましょう。人に何か言われたら『ありがたい』と思って受け止めることが大切です。言われたことを考えて、そのとおりだと思えばしっかり受け入れ、違うと思ったら受け流してもいいのです。

でも、まずは「ありがたい」と思って受け止めることが大切です。素直な人は必ず伸びます。どんどん賢くなりますよ。



お子さんの心のコップは上を向いていますか？

なぜ素直な子が伸びるのでしょうか。素直な人は、人からのアドバイスを正面から受け止めます。そのため、周りの人は気付いたときにアドバイスしてあげようという気持ちになります。つまり、学ぶチャンスが増えるのです。また、素直な人は、それだけで人に好かれます。好かれるということは、大事にされるということです。大事にされる感覚は、その人の安定感につながります。